

# ぶんきょう

座間吟友会 座間さつき会 座間市茶道連盟 座間市謡曲連盟 座間市写真連盟

R5.10

座間市三曲協会 座間市民踊連盟 座間ふるさとガイドの会 谷戸山山野草会

No. 94

発行 座間市文化協会 連絡先 座間市教育委員会教育部生涯学習課文化係 座間市緑ヶ丘 1-1-1 Tel.046-252-8476

## 少し明るい明日について

座間市俳句連盟 桑野剛

人気の朝ドラの「らんまん」は念願の日本植物大図鑑の発刊に漕ぎ着けたところで大団圓。また、「若き書道家の自分探しのドラマ」も面白いストーリーでした。毎週のプレバトでの俳句バトルしかり。渋谷や原宿の路地裏には、おしゃれな盆栽の店が点在しています。

世の中には、ボタニカルな暮らしや、書を楽しみ暮らしたり、俳句を楽しむ暮らしなどに関心を寄せる人たちが溢れるほどいます。世の中のトレンドと新たな参加者を求めている文化協会の各サークルの活動とのギャップは何なんでしょうか。おしゃれかそうでないかの違いもあるのでしょうか、一般の人たちにしてみれば、わたしたちの活動の入口が見えづらいのではないかと。

入口に解り易いサインを施すことで世の趨勢との接点が生まれるのではないかと思います。新しい参加者の獲得は文化協会の各サークルにとっては永遠のテーマであり、一朝一夕に解決できることではないでしょうが、動き出さなければ何も始まりません。

各サークルの初心者教室はそのための活動であり、理に適ったアクションだと思えます。まず目標とする参加者の数を取り決め、出来る告知活動はすべてやってみる。文化協会内でも情報を共有化し、協力し合って参加者を募り、個々の目標に近づける。自分たちの活動の入口は見えているかと自問しながら。成果を信じて取り組めば結果は付いてくるはずですよ。

初心者への手ほどきは経験を積んできた人には新たな気づきをもたらしてくれるとも思います。

## 谷戸山山野草会 今年も咲いてくれました

春に咲く桜草



薄ピンクの楊柳の笛

(ヨウリユウノフエ)

濃いピンクの磯牡丹

(イソボタン)

世界には四百品種も有るそうです。

(前代未聞)(喰裂紙)クイサキガミ

変わった名前も有ります。それぞれ花が特徴的です。



写真提供：森 峯三

真夏の花 鷺草(サギソウ)

白鷺が翼を広げている様です。

谷戸山山野草会では年に一度の展示会と毎月第2火曜日に定例会を開いています。

ご興味のある方は生涯学習課文化係にお問い合わせ下さい。

(小島 千栄子)

## 座間市民謡連合会

春季 82 回民謡・舞踊発表会 5 月 14 日  
春のおさらい会はハーモニホール大和室で行いました。会員皆さんで楽しくおさらい会が出来ました。

秋季 83 回民謡・舞踊発表会 10 月 7 日  
(土) ハーモニホール座間小ホールで開催いたします。日頃の練習の成果を見て頂ければと思います。

(大園華舟(粟竹 好子))

## 座間市川柳連盟

コロナと共にある日常生活が定着してきたこの頃、作品発表の機会を目指して定例会句会で句作に励んでいます。

川柳は日々心に感じたことを言葉に表し楽しむ座の文芸です。興味のある方は鉛筆と辞書を持って遊びに来てください。

「川柳友の会」の定例会句会は、原則毎月第 1 土曜日午前 10 時から座間市公民館講座室で開いています。

(稲垣 文野)

## 座間市民踊連盟

5 類になりやつとコロナから解放されお客様をお呼びしての開催が出来ます。

過ぎた事ですが 7 月 21 日に北地区文化センターで民謡のつどいを開催致しました。

10 月 28 日には座間市民謡連盟の芸術祭の発表会があります。ふるさとの民謡踊りを精一杯踊らせて頂きます。

11 月 19 日のふるさと祭りにはオーブニングで座間音頭と令和音頭を踊ります。皆様も御一緒に踊りましょう。

(安本 文子)

## 座間ふるさとガイドの会

毎月の定例会、5 月子供のフェスタで紙芝居とパネル展示、7 月あすなろ大学で講座を実施。紙芝居の新作「バカヤロー先生」作成。小学校の紙芝居、茅ヶ崎からのひまわり見学は中止。

今後の予定…10 月秋の文化財巡り、芸術祭、11 月市民自主企画講座を 4 回、12 月注連縄作り、3 月春の文化財めぐりです。

(伊藤 浩史)

## 相武棋楽会

104 年振りの快記録ベーブランスの『2 桁勝利、2 桁本塁打』達成の野球界で全米を、又日本中を沸かせた 2 刀流大リーガー大谷翔平選手同様、コロナ騒ぎに負けじと将棋界に於いてもスーパースター藤井聡太 7 冠(名人、竜王、王将、王位、棋聖、棋王、叡王)が現在、8 冠目の王座戦挑戦中で全冠制覇を目指し大活躍している将棋を指してみませんか。

当サークルの活動は毎月第 2 日曜日午前 10 時より座間公民館 2 階の日本間で 1 日中楽しんでおりますので是非足をお運びください、お待ちしております。年齢層も大分高齢化(50〜90 歳)してきましたので若手の皆さんの誘いを重ねてお願いいたします。

(鈴木 兼夫)



## 座間市囲碁連盟

囲碁連盟は毎月第 1 日曜日(午前 10 時開催)に座間市公民館で囲碁大会を開催しております。

今年はコロナ渦で 4 年間中断していましたが「囲碁同好会対抗団体戦」を 10 月に復活開催いたします。高段者から初心者まで参加できる 3 名 1 組の団体戦です。高齢者の外出自粛から同好会が今現在どの程度活動しているか不明ですが、多数のチームが集まることを期待しています。

(馬場 満喜榮)

## 座間市三曲協会

7 月 13 日、旭小学校 4 年生の子供達に箏曲の鑑賞と体験を実施。

7 月 21 日、スマーナ市からの訪問団受け入れに際し、日本の伝統楽器箏(こと)の紹介をし、おことひまわり合奏団の子供達の演奏も行い好評を博す。7 月からは、文化庁委託事業として「おこと子供体験教室」を開催しており、31 名の子供達が 10 月 15 日の演奏会で成果発表致します。

(長谷川 文子)

## 座間市菊友会

座間市菊友会は、創設から48年の歴史ある会です。毎月1回例会兼菊作り講習会を行っています。ここ数年会員は10名以下となり低迷しています。

会員の励みとなるのは、座間市民芸術祭菊花展に育てた菊花を出品することです。コロナ禍の3年間も休止することなく開催させていただきました。

今夏は、例年のない猛暑で成長が頗る鈍い状況です。日除け・水やり・肥料など調整して今年の菊花展出品を目指して励んでいます。

10月31日より市役所1階アトリウムに展示されます。

皆様のご来場をお待ちしております。

(堀口 正美)



写真提供：菊友会

## 座間まつき会

令和5年度座間まつき会は、第48回花季展並びに市民芸術祭を行いました。10月の文芸3団体との展示が楽しみです。

今年、4月に市民による「まつき盆栽教室」を行っています。(今年の行事で今回で5回目)講習会で習得しても疑問点が出た時には次の講習会に参加し勉強してもらい、そして花を愛し樹作りをして楽しんでもらえば幸いです。市民の皆さんに親んでもらえたらいいと思います。

会としては、50周年に向けて邁進して行きます。尚、講習会は市公民館で行っています。何時でも見学して下さい。

(加藤 保彦)



## 座間華道協会

コロナ禍で中止だった芸術祭が今年も開催されます。

未来ある子供たちに、いけ花を伝えていこうと平成30年に開講された「親子いけばな教室」からの参加者が年ごとに増えてきています。

また、県展・武相展への出瓶の他、市庁舎玄関ロビーの生花は、会員が交替で生けて楽しんでいきます。「この花いいね」と言われるような感動を与えられればと思っています。

将来はいけばなの文化体験を通して外国人の方々が、よりいけばなに親しんで下さればと思います。男女、年齢、問いません。いつでも体験できます。

(三浦 年子)



写真提供：華道協会

## 座間市書道連盟

3年もの長いコロナ禍の自粛生活も終り、5月には大風まつりが盛大に行なわれました。書道連盟は祝風の名前書きに例年のとおり協力し、祭り当日は2日間役員が参加し、力強く大空を泳ぐ大風を応援しました。

7月にはスマーナ市から来た子供達の日本文化体験会書道部門に協力し役員一同で手分けしてお手本を準備しました。お手本は漢字の下に英語のスペルを記入して、文字の意味を子供達が理解出来るように工夫しました。真剣にそして楽しくウチワに書き雅印も押して立派に完成させました。

書に興味のある方をお誘いして書道教養講座の開催を予定しております。

(谷内 郁子)



## 座間市歌人会

去る5月、コロナウイルス・オミクロン株が感染症法5類となり、マスク着用が緩和されたが収束には至らず、それに輪をかけて異常な猛暑の日々。気象異変に不安ばかりが続いています。

この現状に充分配慮し、歌人会は定例歌会を実施して会員の交流を深めています。歌会に於いては、生活詠、時事詠、自然詠を歌材に「自由詠・題詠」の提出作品の鑑賞評価をしてそれぞれの作歌意欲の向上につとめていきます。

有りの儘、思いの儘を短歌に託してみませんか。新人会員大歓迎です。

(伊田 登美子)

## 座間市写真連盟

連盟としての今年の活動は、3月7日にざま子育てフェスティバルの撮影協力。その撮影協力が好評で、6月3日には、市老年創立60周年記念事業の撮影をしました。

6月7日は親睦撮影会を相模原市北公園で紫陽花を撮りに行きました。

9月と12月には図書館にてミニ写真展を行います。

(市川 正則)

## 座間市俳句連盟

### 入門教室始めました

9月より毎月第3土曜日に初心者のための入門教室を始めました。5年ぶりの開講ですが、今回は16名の参加者でのスタートです。全5回の教室、中途からの参加でも構いません。お気軽にお声掛けしてください。会場は谷戸山パークセンター他、時間は13時からです。

問合せ先

046(253)1830 田中

(桑野 剛)

## 座間市謡曲連盟

謡曲の魅力を少しでも知っていただくために、去る9月3日、市民の方々に呼びかけ「体験会」を催した。

「高砂」「吉野夫人」の地謡の部分を講師の口移しでとにかく声を出してみる。耳で聴き取り、背筋を伸ばし、お腹から声を出す。観世流能楽師・清水寛二先生の朗々たるお声につられ皆、思いきり謡心をもってもらえるとうれしい。

10月9日、ハーモニーホールにて発表会を行う。

素謡は「羽衣」「敦盛」「吉野夫人」「経正」。独吟は「橋弁慶」「江口」「紅葉狩」「三井寺」等。日頃の稽古も発表の機会を得ることによって弾みがつくというもの。仲間と共にというのがいい。

伝統芸能の魅力は尽きることはないことなしである。

(宮本 明薫)

## 編集後記

文化協会は昭和四十五年一月、十一団体により結成され、会員数も、年々増加であったと記録されている。

現在、団体数は増えたにも拘わらず、会員数は減少するばかり。高齢化は大きな要因ではあるが。

「ぶんきょう」九十四号の発行に向けての委員会は、如何にして会員を増やせるかについて時間をかけた。

様々な意見が出された中で、新しい企画を取り敢えずは試すことに決定。折しも酷暑が続いており、我が家の朝顔も下葉が黄色くなり、花の数も少なくなってきたため薄めの液肥を施してみたところ目覚めた様に復活した。会員増に於いても何か良い施策はないものだろうか。

広報委員 勝家 幸子

写真提供：写真連盟

